



# 機能の概要

## サプライヤリスクデータに関する追加カスタムフィールド (ARI-16778)

一般提供予定: 2022 年 11 月

# サプライヤリスクデータに関する追加カスタムフィールド

## 説明

- リスク影響度の設定が強化され、リスクカテゴリ全体で 300 のカスタムフィールドを利用できるようになりました。
- カスタムフィールドは、リスク影響度に寄与させることも、リスク影響度に寄与させず情報としてのみ表示されるようにすることもできます。
- サプライヤのリスクプロファイルの [リスク] ページに追加された新しい [カスタムデータ] タブに、リスクカテゴリごとのカスタムフィールドが表示されます。

## メリット

- カスタムフィールドが増えることで、リスクカテゴリ全体のさまざまなデータを取り込んでサプライヤを監視できるようになるため、リスク影響度を決定する機能が強化されます。

## ユーザー

- バイヤー

## イネーブルメントモデル

- 自動的に有効

## 対象ソリューション:

- SAP Ariba Supplier Risk

# 前提条件、制限事項、注意事項

## 前提条件

- カスタムフィールドを作成してリスク影響度を設定するには、[サプライヤリスクマネージャ] グループのメンバーである必要があります。
- API の更新を実行する前に、設定エディタで新しいドラフトバージョンを作成し、カスタムフィールドを作成してから、ドラフトバージョンを有効化することをお勧めします。

## 制限事項

- カスタムフィールドは、否定的な情報や添付ファイルには使用できません。
- ユーザーインターフェイスでカスタムフィールドを設定する場合、あるいは API または CSV アップロードでカスタムフィールドに値を入力する場合、個人を特定できる情報 (PII) を含めることはできません。

## 注意事項

- カスタムフィールドとその値は、Risk Category Information API for Supplier Risk Exposure または既存の CSV アップロードプロセスを使用して、サプライヤ 360° プロファイルおよびリスク影響度に追加することができます。CSV には、設定で定義したサプライヤとデータエレメントを含めます。
- 手動の CSV アップロードプロセスでは、ERP ベンダ ID およびソースシステムによって各サプライヤが識別されます。Risk Category Information API を使用する場合は、代わりに SM ベンダ ID を使用する必要があります。
- すべてのフィールドを設定エディタでマッピングし、サプライヤのリスク影響度計算に含まれるようにする必要があります。設定が不完全な対象フィールドはすべて無視され、リスク影響度には寄与しません。

# 機能の詳細

この機能により、既存のカスタムフィールド機能が以下のように拡張されます。

- 利用可能なカスタムフィールド数が 300 に増加します。
- フィールドのメタデータに、任意の追加情報として [URL]、[ノート]、および [出典] が含まれています。
- カスタムフィールドは情報のみとなり、リスク影響度に対する寄与要因から削除されます。
- 新しい [カスタムデータ] タブに、新しいカスタムフィールドを含むすべての寄与要因のリスク影響度が、リスクカテゴリごとに表示されます。

The screenshot displays the SAP Risk Management interface. The top navigation bar includes tabs for Risk exposure, Risk incidents, Enriched corporate info, Financial risk, Engagement requests, and Custom data. The Custom data tab is active, showing a table of risk categories and their exposure levels.

Risk category	Risk exposure
> Regulatory & legal (5)	Low
> Operational (5)	Low
∨ Financial (5)	Low

  

Name	Value	Update date	URL	Notes	Source	Contributing
field 1	5	2022-08-06				✓
field 2	50					✓
field 3	25					✓
field 4	5					✓
field 5	15					✓

  

The detailed view shows a risk exposure of 'Low' (2.72/100.0) as of June 08, 2022. A line chart tracks the risk exposure from March 13 to June 05, showing a sharp increase starting in May. Below the chart, four risk categories are detailed:

- Regulatory & legal (25%)**: Low (4.09/100.0), Custom fields (5) include field 15: 5, field 14: 5, field 13: 5, field 12: 5.
- Environmental & social (25%)**: Low (2.02/100.0), Labor compliance (1).
- Operational (25%)**: Low (3.78/100.0), Custom fields (5) include field 10: good, field 9: average, field 8: good, field 7: average.
- Financial (25%)**: Low (1/100.0), Custom fields (5) include field 5: 15, field 4: 5, field 3: 25, field 2: 50.

フォローをお願いします。



## [www.sap.com/contactsap](http://www.sap.com/contactsap)

© 2022 SAP SE or an SAP affiliate company. All rights reserved.

本書のいかなる部分も、SAP SE 又は SAP の関連会社の明示的な許可なくして、いかなる形式でも、いかなる目的にも複製又は伝送することはできません。本書に記載された情報は、予告なしに変更されることがあります。SAP SE 及びその頒布業者によって販売される一部のソフトウェア製品には、他のソフトウェアベンダーの専有ソフトウェアコンポーネントが含まれています。製品仕様は、国ごとに変わる場合があります。これらの文書は、いかなる種類の表明又は保証もなしで、情報提供のみを目的として、SAP SE 又はその関連会社によって提供され、SAP 又はその関連会社は、これら文書に関する誤記脱落等の過失に対する責任を負うものではありません。SAP 又はその関連会社の製品及びサービスに対する唯一の保証は、当該製品及びサービスに伴う明示的保証がある場合に、これに規定されたものに限られます。本書のいかなる記述も、追加の保証となるものではありません。特に、SAP SE 又はその関連会社は、本書若しくは関連の提示物に記載される業務を遂行する、又はそこに記述される機能を開発若しくはリリースする義務を負いません。本書、若しくは関連の提示物、及び SAP SE 若しくはその関連会社の戦略並びに将来の開発物、製品、及び/又はプラットフォームの方向性並びに機能はすべて、変更となる可能性があり、SAP SE 若しくはその関連会社により随時、予告なしで変更される場合があります。本書に記載する情報は、何らかの具体物、コード、若しくは機能を提供するという確約、約束、又は法的義務には当たりません。将来の見通しに関する記述はすべて、さまざまなリスクや不確定要素を伴うものであり、実際の結果は、予測とは大きく異なるものとなる可能性があります。読者は、これらの将来の見通しに関する記述に過剰に依存しないよう注意が求められ、購入の決定を行う際にはこれらに依拠するべきではありません。本書に記載される SAP 及びその他の SAP の製品やサービス、並びにそれらの個々のロゴは、ドイツ及びその他の国における SAP SE (又は SAP の関連会社) の商標若しくは登録商標です。本書に記載されたその他すべての製品およびサービス名は、それぞれの企業の商標です。商標に関する情報および表示の詳細については、[www.sap.com/trademark](http://www.sap.com/trademark) をご覧ください。